

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	－	－	－
(北関東)	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数は少ないものの、販売額は上がっている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車販売と修理をしているが、1月に入ってかなりの量が販売できている。前年と比べてもかなり良く、修理の客も多く来店している。新型コロナウイルス禍でどこにも出かけられないので、こういうところでお金を使っているのかもしれない。
	○	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発令され、再び巣籠り傾向が強くなっており、DIYホームメンテナンス、インテリア等の商材を求める客が増えている。家食の傾向も高まり、食材だけでなく、各種鍋、食器、調理器具等の動きも活発になっている。家で過ごす時間が長くなるため、暖房機器の使用が増え、灯油の販売も順調である。
	○	通信会社（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言による巣籠り需要でテレビ、インターネット回線共に、やや好調である。
	○	通信会社（局長）	販売量の動き	・来客数は前年比80%のままだが、窓口販売が前年実績に戻ってきている。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が続いているなか、消費者が感染に気を付けながら動き出している。Withコロナの生活に慣れてきている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、幼稚園や学校行事の中止、延期が出ている。当店の主力商材の売上が激減し、さらに、感染拡大第3波で自粛ムードが高まり、来客数が数名だけになってきている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・年が変わったが、新年のイベントも全部中止になっている。人の大勢集まる行事はなく、外出を控えるので街は静かである。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比91%、来客数は同88%で、1日当たり、各4万3000円、78人の減となっている。店の前面道路工事終了に伴い、12月からマイナス幅は縮小傾向にある。しかし、緊急事態宣言再発令で、夜の減少が大きく、売上や来客数減の要因となっている。
	□	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・1都3県、隣接する栃木県の緊急事態宣言発令から、来客数が極端に減っている。
	□	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・年末は、年始に向けた年賀用商材が動いて、やや回復したと思ったが、その後は再び悪化状態となっている。
	□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・白物家電や映像家電は、新型コロナウイルス禍の巣籠り需要で今月も好調に推移している。前年は新型コロナウイルス禍ではなかったが、その前年実績の約2けたの伸びである。
	□	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・この状況下で、いかに来客数を増やせるかを課題にして取組んでいる。チラシ、メール等の販促を実施し、来客数は前年比110%を確保できている。2月からもこの取組を継続していく。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検等の整備売上や新車、中古車等の販売はこの数か月間、低位安定の感が強い。しかし、年間を通して赤字にならないければ良しと思うかと思っている。
	□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・3か月ほど前には、一時景気が盛り返し始めたが、新型コロナウイルスの感染拡大のせいから、ここ1～2か月、低迷し始めている。今はプラスマイナスゼロで、これから良くなるのか悪くなるのか、微妙なところである。
	□	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客足は戻りつつあるが、客単価が下がっているため余り変化を感じられない。
□	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・高齢の客の来店が、4月と比べて落ちていない。	
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がかなり出ている。外出を控えている方が多いので、販売自体は訪問の形が多くなっている。	

▲	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・年末年始から人の動き方が大きく変化している。特に、Go To Travelキャンペーンの一時停止頃から影響が出ている。新型コロナウイルスの感染状況により、来店頻度が減少する傾向にある。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・当店は観光立地なのだが、観光客並びにスキー客がかなり減っている。また、朝の通勤客の来店も減少している。
▲	その他専門店 〔靴小売業〕 （経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言再発出となり、急激に来客数が減少傾向になっている。年末年始の小売店としては、イベント等の初売りがなくなり、来店客も通常の必要な物を求めている感じである。天候も関東圏は雪が少なく、消費に結び付かない。また、Go Toキャンペーンも尻すばみになったことが、人の動きが少なくなった原因かもしれない。
▲	その他専門店 〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、業務用の使用量が減少し、受注も減少している。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・事業所給食提供先で、現時点では事業所自体を休業したところはないものの、研修施設の利用見合せやリモートワーク実施に伴う出勤者、出張者の減少等により、施設ごとの提供食数が減少している。スタッフのシフトや食材管理が対応しきれっていないこともあり、収支悪化の要因になっている。当面こうした状況が続くものとみられる。
▲	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・年末商材のおせちは需要も多く、目標より良い結果で終わることができた。しかし、1月に入ってから緊急事態宣言再発出もあり、新年会や賀詞交換会、成人式を含む同窓会等の中止が相次ぎ、今月の売上は低迷している。
▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・携帯ショップ等は、新型コロナウイルスの影響で来店客数を制限しているため、契約数が減少している。
▲	ゴルフ場（総務担当）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は収まってきたが、客単価は下がっている。なお、年始に首都圏を中心に、再び緊急事態宣言が発出されたため、今後は影響が出る可能性がある。
▲	競輪場（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受けて、入場者数が徐々に減少している。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言下での時短営業は飲食業のみにとどまらない。午後5時を過ぎると、商店街から人が消え、閑散としている。
▲	設計事務所（所長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の再発出による外出自粛や飲食店の時短営業で人の動きが悪いため、お金の動きも悪い。
▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言で人の動きがないため、インターネットによる反響でしか判断できないが、反響も少なくなっている。来客は全くない。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・例年1～2月の売上は、1年の内で最も厳しくなるため、3か月前の売上達成度をみると、10月は前年同月比75%まで回復していたが、今月は同25%となっている。10月はGo To地域共通クーポンの利用が始まり、我々飲食物産販売業にもGo Toキャンペーンの恩恵が強く感じられる時期だった。しかし、1月に再び緊急事態宣言が発出され様々な自粛が求められると、観光客の動きは日を迫うごとに鈍くなり、結局、1回目の緊急事態宣言が解除された6月よりも、厳しい売上となってしまっている。
×	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・飲食店、ホテル、結婚式場等、全ての取引先が前年比90%くらいで推移している。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・当県は緊急事態宣言の対象地域ではないものの、宣言再発出に伴い、来客数の減少が著しい。初商も極めて厳しい結果に終わり、しばらく厳しい状況が継続するものと予想される。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数が激減している。来店しても買う物を買ったらすぐに帰ってしまうという傾向が顕著である。衝動買いや下見の来店等はかなり少なく、売上に影響を及ぼしている。

×	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・前月からずっと悪かったが、年明けに緊急事態宣言が再発出されてからは、全くと言ってよいほど、客が出てこない。当店の顧客は高齢者が多く、その人たちが行動制限をきちんと守っている。私ども衣料品も飲食店も全てだが、国の対策のタイミングの悪さや遅れも含めて、内容的に国民レベルに立った政策が全く出されていないと感じる。
×	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当店は裏に観光地を控えていて、ホテル、ドライブイン等いろいろな店があるが、Go Toキャンペーンが中断し、さらに当県でも緊急事態宣言が再発出されたので、全くと言ってよいほど平日は客が来ない。土日は辛うじて多少は客が来ているが、人の往来が全くない状態なので、客が皆、口をそろえて「とにかくひどい」と言っている。ホテルでは週3回休み、ドライブインは土日しか営業できない等、売上が全くないような状態で推移している。先行きが全くみえない。
×	住関連専門店 (店長)	それ以外	・長引く新型コロナウイルス禍で、飲食店や有名なアパレルメーカー等、今までは考えられないような倒産や撤退が続いている。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まらない限り、見通しが立たない。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・県独自の緊急事態宣言による時短営業に加えて、感染リスクは飲食店にある等の報道で、来客が激減している。テイクアウトも思ったほどではなく、新年会等もキャンセルとなり、どうしようもない状態である。
×	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	お客様の様子	・県独自の緊急事態宣言発令で、飲食店への時短要請により、店内飲食は皆無である。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・当県に緊急事態宣言が再発出され、一気に客足が遠のいている。当店を信頼してくれている常連客の来店があるのは有り難い。ただ、外食することが悪いかなのような政府の発言には、同業者もへきえきしている。
×	スナック (経営者)	お客様の様子	・客から、「自粛要請のなか、会社から外での会食は止めるように言われている」という話が出ている。皆、外に出ないということである。
×	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・飲食業への時短営業協力や自粛要請により、売上が正常時と比較して3%にまで落ち込んでいる。3%減ではなく3%しかない。
×	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者が増えて、当県や全国的な緊急事態宣言が出たため、少しずつ戻ってきていたホテルの稼働率は、再び悪くなっている。
×	都市型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発出され、首都圏からの予約が大幅に減少している。また、県独自の緊急事態宣言により、料飲部門はディナータイムをクローズしたため、ホテルとしては大打撃を受けている。
×	旅行代理店 (経営者)	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンが停止中で、新規申込がほとんどなくなっている。
×	旅行代理店 (所長)	来客数の動き	・当県も緊急事態宣言を発出するほど新型コロナウイルスの感染が拡大しており、感染拡大第1波の頃や東日本大震災時を思い起こすほど、観光客の姿を見なくなっている。旅館を始め、休業対応するところが日々増えている。
×	旅行代理店 (従業員)	それ以外	・Go Toキャンペーンは関連も含めて、動きがない。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客が少ないところに、緊急事態宣言の再発出があり、以降ますます客は少なくなっている。雇用調整でタクシー台数を減らしていたが、さらに出勤日数を20日から10日に減らしても売上は伸びず、ひどい状況である。県独自の緊急事態宣言で、夜8時には飲食店も閉じて真っ暗で、歩いている人もいない。
×	タクシー (経営者)	お客様の様子	・夜の外出自粛の影響で夜の客の動きが悪く、前年同月比48%の減少である。
×	タクシー (役員)	それ以外	・国の支援策が完全に偏っていて、公共交通事業者に対して何も支援がされていない。外出を制限すれば、タクシー事業は業務を維持する必要がない。

	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で、日に日に状況は悪化し、売上は下がる一方である。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発令され、ホテル、旅館の大半が臨時休業している。観光客の動きがなくなり、入園者数が大幅に減少している
	×	ゴルフ練習場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による外出自粛要請があり、楽天的な客がいない。
	×	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・以前にも増して、客の財布のひもが固くなっている。「倒産の覚悟をしている」と話す事業関係者が増えている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・やはり緊急事態宣言が浸透しているせいか、飲食店関係が非常に悪くなっている。撤収、閉店の数が多くなって、貸店舗の空室が目立ってきている。不動産も今は動きがほとんどなく、停滞状態である。この春から新規に貸店舗を借りる方もいたが、全て一時中断となっている。
企業動向関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、公共工事は順調に推移しており、前年比26%増と近年にない大きな伸びである。特に、県関係が前年比50%増と突出しているが、県南地域の災害復旧工事なので、心から喜べる状況ではない。災害に遭われた方が1日も早く元の生活に戻ることを切に願っている。当社受注も前期比10%増で、新型コロナウイルス禍のなかでは有り難い。
	□	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスで大騒ぎだが、特段、変化はない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末を控えて、生産に追われている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き続き、自動車関連の仕事は好調を維持し、24時間稼働して対応している部署もある。また、小型建設機械関連部品に関しては、中国向けのスポット応援依頼があり、納期対応に苦慮している。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスによる巣籠り需要や新生活用品などの荷動きが良く、特に、白物家電のエアコン、冷蔵庫、洗濯機等や空気清浄機、加湿器などの物量が前年の10%増となっている。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末までは順調に回復してきていたが、年始になってから新型コロナウイルスの影響か、少し様子がおかしくなっている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・既に3か月連続で前年同月比3～4割減が続いている。これが上向く兆候は全くなく、あと何か月か続けば会社の経営も厳しくなる。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子や受注、販売量等が、やや落ち込んだまま、数か月同じ状況である。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・前月予定していた延期になった定期管理業務を今月行なったり、新規取引先の保守管理が始まったりしている。ただし、新型コロナウイルスの感染状況が高止まりしているため、病院や介護施設の取引先で、予定していた保守管理業務が延期又は中止となっているところもあるため、トータルでは横ばいである。
	▲	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言によって、取引先の結婚式場からの入金が増えている。新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響をもちに受けて、予定していた結婚式がほぼ延期となり、2月一杯まで式場に入金予定がないため、3月以降に支払を延ばしてほしいとのことである。宣言解除イコール結婚式開催とはならないため、見通しが立たない。

	▲	経営コンサルタント	取引先の様子	・緊急事態宣言下で、商店、飲食業のような個人向けの業種や接客頻度の高い業種は、相対的に厳しい。それでもランチ営業やテイクアウト等にシフトしているところは、それなりに営業を維持している。他の業種は、それほど極端な落ち込みはないようである。
	▲	司法書士	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると、1月は余り仕事がない時期なので、どうしても落ち込む。新型コロナウイルスの影響も少しはあるが、前年同期と比べて多少落ちている。やや悪くなっていると回答したが、あと少し良ければ、変わらないという回答にできたのに、というくらいのところにはある。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9～10月と比べて、売上は1～2割減っている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が依然として続いているのか、取引先の受注、生産量が停滞している。そのため、当社の受注も落ちている。
	×	社会保険労務士	取引先の様子	・半導体工場は好調で、消毒関連の事業所も一段と忙しくなっている。サービス関連で新型コロナウイルスの悪影響を受けているところは、相変わらず厳しい。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(北関東)	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・製造業でも機械関係、電機、自動車関連、IT等を含めた精密機械関係の工場生産の動きは変わらない。ただ、駐車場等の車の台数からみて、事業稼働日数はやや少なく、極端なところだと半減しているものの、自力で頑張っているようである。一般衣料等の小売、生鮮食品等は、販売意欲があり、活発な販売戦略を行っている。ただし、売れているかどうか、購買状況は分からず、微妙なところである。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期派遣依頼数が増えていない。
	□	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、求人数は低迷したまま推移している。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月の有効求人倍率は1.27倍と前々月と比べ0.22ポイント上回ったが、前年同月比はマイナス0.50ポイントと11か月連続で下回っている。有効求人数は前年同月比マイナス17.1%で18か月連続減少、新規求人数も前年同月比がマイナス11.2%で14か月連続減少となっている。
	▲	人材派遣会社（経営者）	それ以外	・5日前に、現場で新型コロナウイルスり患者が出て、今、会社でがてんこ舞いで困っている。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・12月までは休業実施事業所は減少傾向になっていたが、1月になり、飲食店、卸業、宿泊業から、新規に休業申請が増加している。また、製造業からも1月以降、休業実施の見込みという情報がある。
	×	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により、学校行事等が中止になっている。関連する旅行業並びに飲食産業の取引先に大きな影響を及ぼしており、大変申し訳なく感じている。